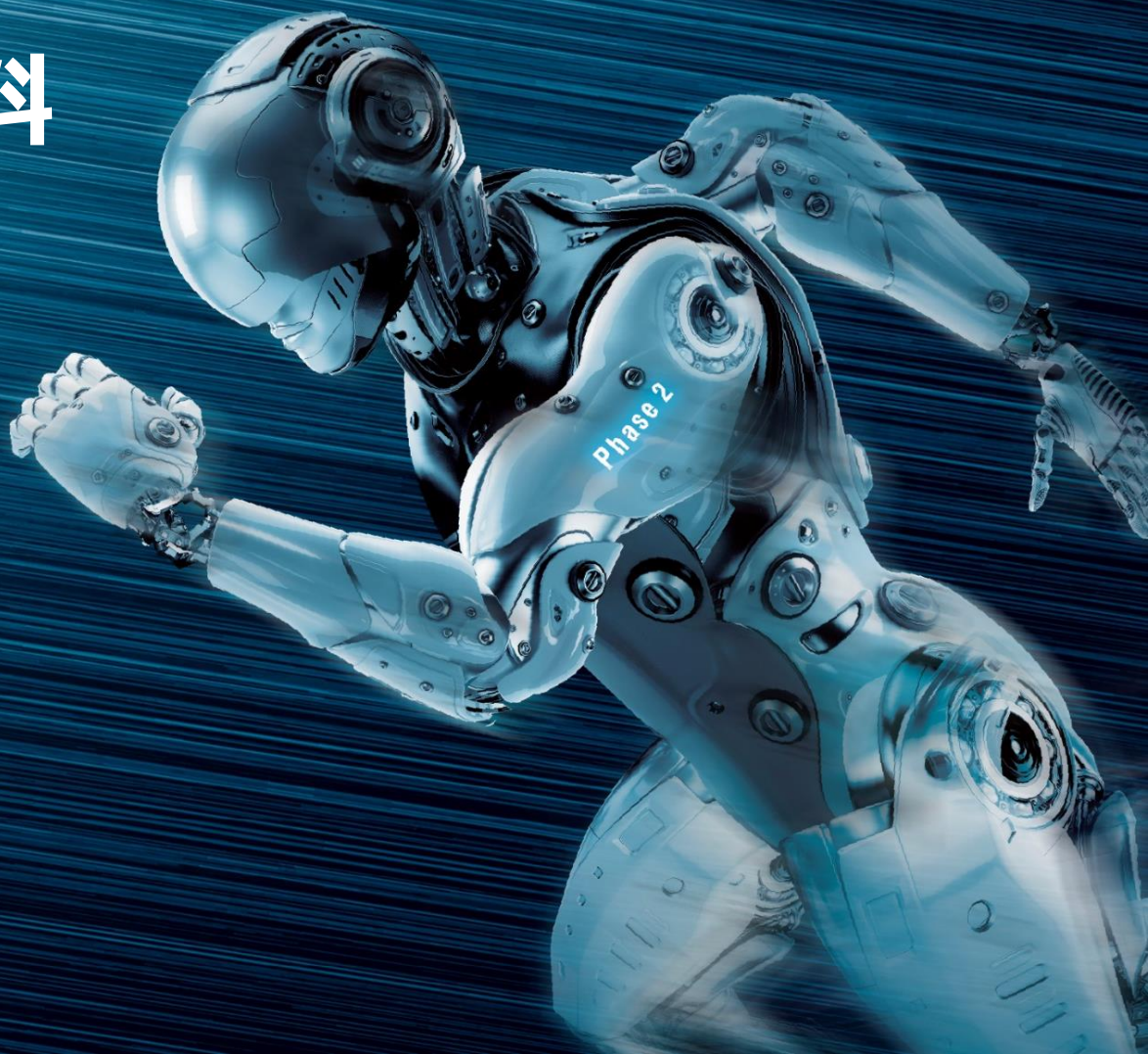


2023年3月期
第2四半期
決算説明会資料



2022年11月4日
NTN 株式会社

- I. 決算のポイントと「DRIVE NTN100」 Phase 2の進捗
- II. 2023年3月期第2四半期決算と通期見通し

① 上期決算のポイント

売価転嫁、為替等の影響により公表比増収増益、計画通り復配へ

上期 ポイント

- ✓ 半導体不足の影響は続くものの、売価転嫁、為替により、販売は大幅増
- ✓ 売価転嫁の着実な進捗と為替の影響により、営業利益も公表を上回る
- ✓ 棚卸資産は、自動車向け需要の戻りが遅く、増加

(億円)	2022年3月期		2023年3月期			
	上期実績①	通期実績	上期実績②	YoY ①vs②	上期(公表)③	公表差②vs③
売上高	3,058	6,420	3,717	+659(+22%) 除く為替(+9.9%)	3,500	+217(+6%) 除く為替(+2.4%)
営業利益・損失 (率)	16 (0.5%)	69 (1.1%)	39 1.0%	+23 (+0.5pt)	10 0.3%	+29 (-0.8pt)
経常利益・損失	17	68	36	+19	10	+26
親会社株主に帰属する 当期純損失	-10	73	-16	-6	-35	+19
為替レート 1USD	109.8円	112.3円	133.9円	+24.2円	124.8円	+9.1円
1EURO	130.8円	130.5円	138.7円	+7.9円	136.5円	+2.2円
棚卸資産	2,015	2,148	2,476	+327(3月末比)	中間配当	2.5円
設備投資	81	198	95	+14	(年間配当)	(5.0円)
フリー・キャッシュフロー	11	115	135	+124		

②上期決算 事業形態別のポイント

全事業で売上高、営業利益ともに、公表比増加

アフター マーケット

- ✓ 新型コロナの需要減少からの回復が継続、**全地域で公表比増収**
- ✓ 特に中国については、上海ロックダウン後の大幅な需要回復

産業機械

- ✓ 建設機械、風力発電、航空機、工作機等で**前年比増収**
- ✓ 不採算ビジネスの縮小、値上げ交渉・値引き抑制を進め、**利益改善**

自動車

- ✓ 慢性的な半導体不足は継続するものの、上海ロックダウン解除後の日本、米州、欧州、中国における挽回生産により、**公表比増収**
- ✓ 2Q（7月-9月）は、前年比で**利益改善**

(億円)	アフターマーケット 2023年3月期			産業機械 2023年3月期			自動車 2023年3月期			全事業 2023年3月期		
	1Q	2Q	上期	1Q	2Q	上期	1Q	2Q	上期	1Q	2Q	上期
売上高	323	336	659	341	350	691	1,062	1,306	2,367	1,726	1,991	3,717
前年同期差	+54	+64	+118	+34	+46	+80	+72	+389	+461	+160	+499	+659
8月IR（公表）差			+34			+21			+162			+217
営業利益	46	53	100	12	15	27	-66	-22	-88	-8	46	39
前年同期差	+12	+19	+31	+8	+5	+13	-44	+23	-21	-24	+47	+23
8月IR（公表）差			+10			+7			+12			+29
営業利益率	14.3%	15.9%	15.1%	3.6%	4.2%	3.9%	-6.3%	-1.7%	-3.7%	-0.5%	2.3%	1.0%

③下期のポイントと通期の業績予想

売価転嫁、為替の影響を織り込み、業績予想を上方修正

下期 ポイント

- ✓ 半導体不足等の影響が下期も継続
- ✓ 鋼材価格・物流費等の値上げがあるものの、売価転嫁等で対策
- ✓ 棚卸資産は需要回復への備えも織り込みつつ、削減を推進

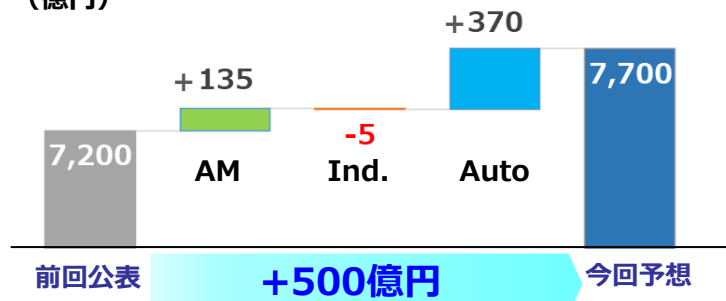
(億円)	2022年3月期		2023年3月期			
	通期実績	上期実績	下期予想	通期予想	通期(前回公表)	前回公表差
売上高	6,420	3,717	3,983	7,700	7,200	+500(+7%)
営業利益・損失 (率)	69 (1.1%)	39 1.0%	221 5.6%	260 3.4%	230 3.2%	+30 (+0.2pt)
経常利益・損失	68	36	194	230	200	+30
親会社株主に帰属する 当期純利益・損失	73	-16	136	120	100	+20
為替レート 1USD	112.3円	133.9円	140円	137.0円	122.4円	+14.6円
1EURO	130.5円	138.7円	140円	139.4円	135.8円	+3.6円
棚卸資産	2,148	2,476	2,250	2,250	2,000	+250
設備投資	198	95	135	230	230	0
フリー・キャッシュフロー	115	135	45	180	180	0

④事業形態別の業績予想

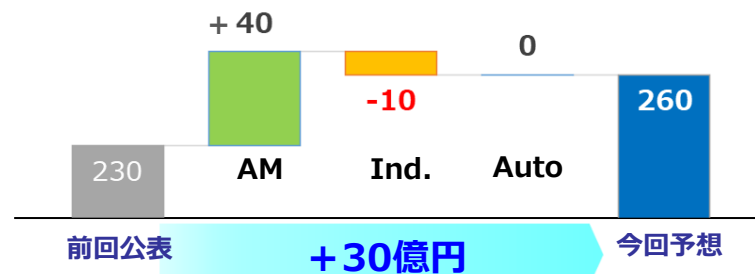
**アフターマーケット、自動車は増収、産業機械は減収
営業利益は、自動車は据え置き、補修、産機は規模の影響を反映**

		2022年3月期					
		上期実績	今回修正 下期予想	通期予想	上期	前回公表 下期	通期
(億円)							
売上高	アフターマーケット	659	686	1,345	625	585	1,210
	産業機械	691	704	1,395	670	730	1,400
	自動車	2,367	2,593	4,960	2,205	2,385	4,590
	合計	3,717	3,983	7,700	3,500	3,700	7,200
営業利益(率)	アフターマーケット	100 15.1%	105 15.3%	205 15.2%	90 14.4%	75 12.8%	165 13.6%
	産業機械	27 3.9%	28 4.0%	55 3.9%	20 3.0%	45 6.2%	65 4.6%
	自動車	-88 -3.7%	88 3.4%	0 0.0%	-100 -4.5%	100 4.2%	0 0.0%
	合計	39 1.0%	221 5.5%	260 3.4%	10 0.3%	220 5.9%	230 3.2%

売上高 (億円)



営業利益 (億円)

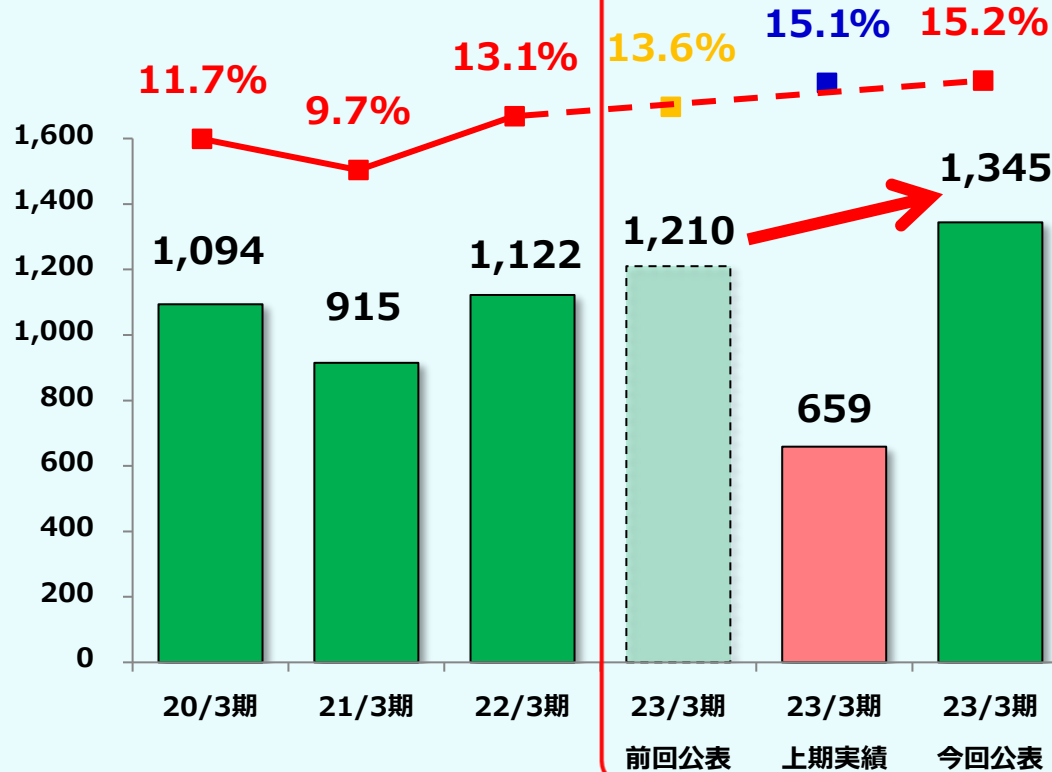


⑤アフターマーケット事業の状況

- ✓ 補修需要は**回復が続き、堅調**
- ✓ 需要回復を、確実に販売に繋げるための**供給力強化**
- ✓ 鋼材価格、物流費の上昇分は、定価表改定による**売価転嫁を推進**

アフターマーケット事業の売上高と営業利益率

(億円)



供給力の強化



ボールベアリング標準品を海外協力会社へ生産移管、供給開始
補修向け供給力を強化し、販売拡大、グローバル需要の獲得を進める

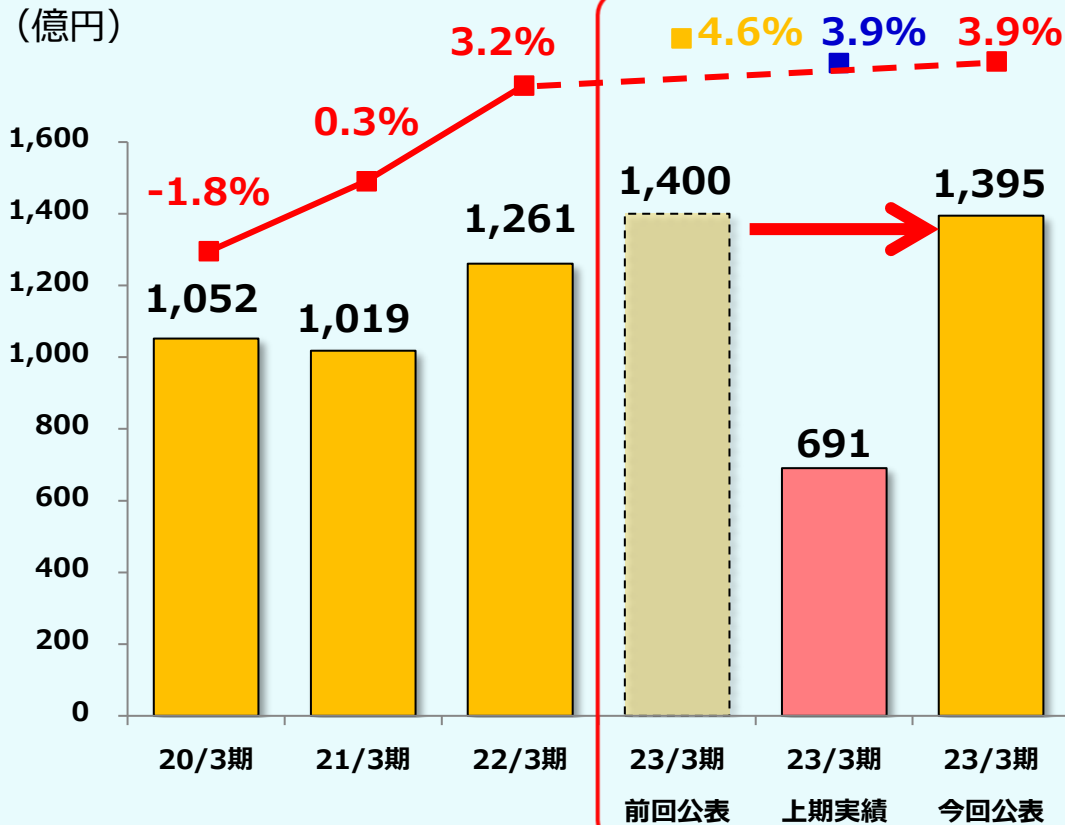


和歌山新工場にボールベアリング向け生産設備増強
2023年度生産開始

⑥産業機械事業の状況

- ✓ 変減速機、鉄道車両、航空機は、**需要堅調**
- ✓ 不採算ビジネスの縮小、赤字型番の**値上げは継続**
- ✓ 鋼材価格、物流費の上昇分の**売価転嫁も引き続き推進中**

産業機械事業の売上高と営業利益率

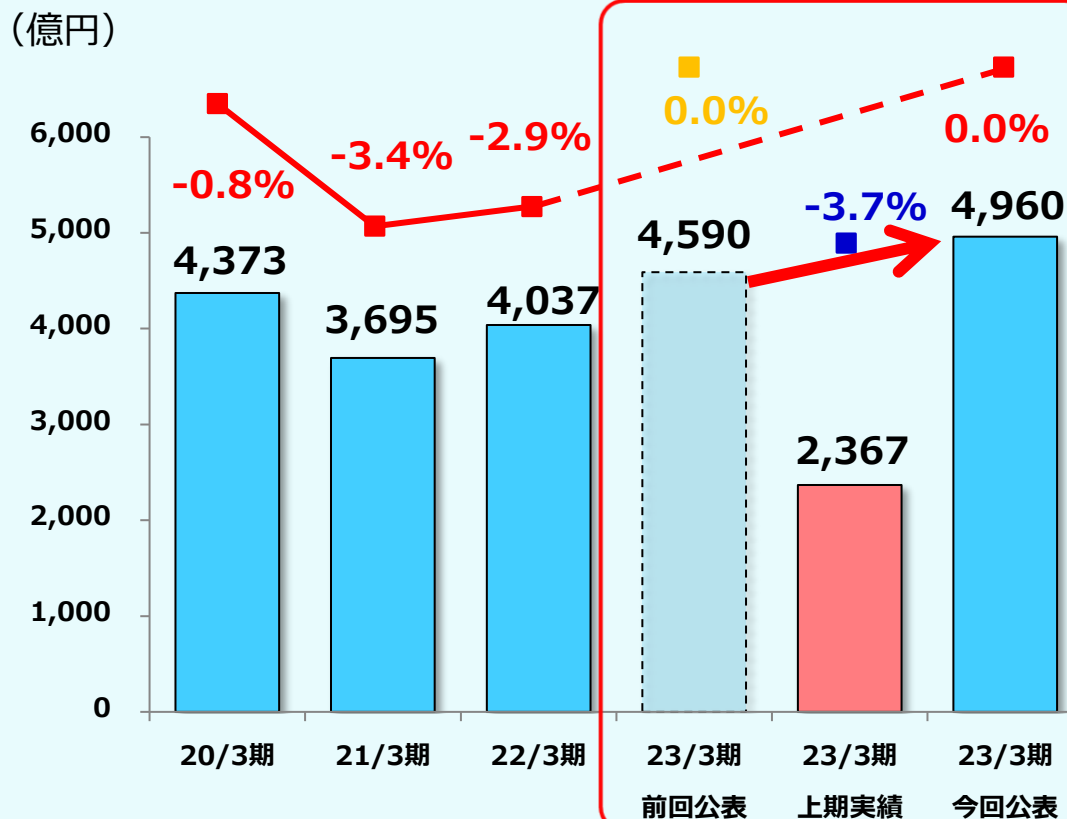


業種別販売概況	FY21 2H FY22 1H	FY22 1H FY22 2H
建設機械	→	→
農業機械	↗	→
変減速機	→	↗
風力発電	↗	↘
工作機械	↗	→
鉄道車両	→	↗
航空・宇宙	↗	↗

⑦自動車事業の状況

- ✓ 上海ロックダウン、半導体不足の影響は残るものの、**上期前年比+24%**
- ✓ 下期も引き続き鋼材価格、物流費の上昇分は**売価転嫁を推進**
- ✓ **EV・電動化向け高機能商品の開発、投入の加速**

自動車事業の売上高と営業利益率

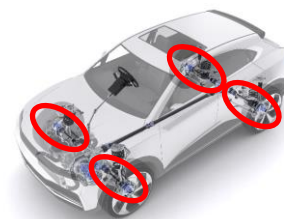


【自動車事業の成長戦略の4本柱】

- ①EV,電動化
- ②大型SUV/商用車/ピックアップ
- ③プレミアムブランド
- ④重要顧客とのパートナーシップ強化

【自動車EV・電動化への対応】

高効率固定式等速ジョイント「CFJ」の量産受注



世界最小・最軽量の固定式等速ジョイント「EBJ」の基本特性を維持しつつ、トルク損失率を50%以上低減
2022年“超”モノづくり部品大賞(大賞)受賞

⑧ ESG経営の取り組み

ESGに関する取り組みの詳細は統合報告書「NTNレポート」を参照ください
<https://www.ntn.co.jp/japan/csr/ntnreport.html>

企業理念

新しい技術の創造と新商品の開発を通じて
国際社会に貢献する

マテリアリティ13項目

当社の独創的技術の創造を通じて社会に貢献
(ポジティブインパクトの強化)
グローバル企業にふさわしい経営・企業形態の形成
(ネガティブインパクトの低減)

「なめらかな社会」※ の実現

※人と自然が調和し、人々が安心して豊かに暮らせる社会

「気候変動への対応」 取り組み進捗

5月 カーボンニュートラル目標の機関決定

CO₂排出削減目標（SCOPE1・2：自社の事業活動）

2030年度までに**50%削減**(2018年度比)

2035年度までに**カーボンニュートラル達成**

CO₂排出削減目標（SCOPE3：原材料の製造や輸送
含むサプライチェーン全体）

2050年度までに**カーボンニュートラル達成**

7月 カーボンニュートラル推進プロジェクトの発足

社長が統括責任者を務め、目標達成に向けて、全社で取り組む

従業員への浸透活動

社長の方針説明会の開催

- ・国内外40箇所超で、現地経営幹部及び一般従業員へ説明会を開催

従業員表彰制度（NTN PROUD AWARD）

- ・マテリアリティ13項目の解決に向けた優秀な取り組みを表彰
- ・従業員の日々の業務とESG経営を結び付け、従業員へのESG経営に対する意識の向上

ご参考：中期計画3年間の事業運営方針（中期計画資料の抜粋）

※中期経営計画の詳細はホームページを参照ください：<https://www.ntn.co.jp/japan/investors/mtermplan.html>

DRIVE NTN100

2027年度
の姿

基本方針

新しい100年に向けて、事業構造の変革を加速

基本戦略

Digitalization（最新デジタル技術）x **R**esources（NTNが培った経営資源）
Innovation（革新的な技術・商品・サービスの開発）
Variable cost reformation（調達改革）
Efficiency improvement（生産性と品質の世界一同時達成/資産効率の向上）

売上高
成長率
各地域のGDP
成長率+α

事業運営
方針

Phase 1
(2018年度～2019年度)

危機対応期間
(2020年度)

Phase 2
(2021年度～2023年度)

Phase 3
(2024年度～)

既存の商品・事業の利益率
と投資効率を追求

従業員の健康と
安全の確保

既存の商品・事業の利益率
と投資効率を追求

新事業と
基盤事業の
領域を構築

新たな事業・商品を
創出して事業化

事業資金の確保
及び事業継続

新事業の峻別と経営資源の
配分の見直し

・つくる
・育てる
・稼ぐ

事業構造の変革を支える
経営体制の構築

将来の成長に
向けた準備

コーポレートガバナンスの強化
(経営基盤の再構築)

営業
利益率
10%以上

総資産
回転率
1.0回転以上

為替
感応度
半減

Phase 1
財務体質の
急激な悪化

外部環境
EV化、電動化、DXの再加速
COVID-19（不確実性）
安全重視・働き方の変容

Phase 2
1. 3年間でNTN再生に注力
(BSの立て直し、CFの改善)
2. 将来の成長に向けた種まき

- I. 決算のポイントと「DRIVE NTN100」 Phase 2の進捗
- II. 2023年3月期第2四半期決算と通期見通し

①2023年3月期 第2四半期決算のポイント

◇売上高

3,717億円 前年同期比**+659**億円 (除く為替**+302**億円)

◇営業利益

39億円 前年同期比**+23**億円 (除く為替**△32**億円)

◇経常利益

36億円 前年同期比**+19**億円 (除く為替**△38**億円)

◇親会社株主に帰属する四半期純利益

△16億円 前年同期比**△6**億円 (除く為替**△42**億円)

◇棚卸資産

2,476億円 前期末比**+327**億円 (除く為替**+158**億円)

◇フリー・キャッシュ・フロー

+135億円 前年同期比**+124**億円

②連結損益

(参考)前回公表

(億円)	'22年3月期			'23年3月期			増減			'23年3月期 上期 見通し
	上期 実績	下期 実績	通期 実績	上期 実績	下期 見通し	通期 見通し	対前年同期 ②-①			
	①			②			合計	除く為替	為替	
売上高	3,058	3,362	6,420	3,717	3,983	7,700	659	302	357	3,500
営業利益	16	53	69	39	221	260	23	△ 32	55	10
(率)	(0.5%)	(1.6%)	(1.1%)	(1.0%)	(5.6%)	(3.4%)	(0.5%)			(0.3%)
経常利益	17	51	68	36	194	230	19	△ 38	57	10
特別損益	△ 1	109	108	-	△ 30	△ 30	1	1	-	-
親会社株主に帰属する 当期純利益	△ 10	84	73	△ 16	136	120	△ 6	△ 42	36	△ 35
為替レート 1USD	109.8円	114.9円	112.3円	133.9円	140.0円	137.0円	24.2円			124.8円
1EURO	130.8円	130.2円	130.5円	138.7円	140.0円	139.4円	7.9円			136.5円

③地域別売上高

(億円)	'22年3月期			'23年3月期			増減			(参考)前回公表
	上期 実績	下期 実績	通期 実績	上期 実績	下期 見通し	通期 見通し	対前年同期 ②-①			'23年3月期
	①			②			合計	除く為替	為替	上期 見通し
日本	864	944	1,808	955	1,000	1,955	91	91	0	940
米州	853	959	1,812	1,186	1,309	2,495	333	126	206	1,090
欧州	621	650	1,271	720	721	1,440	99	58	41	670
アジア他	720	810	1,530	856	954	1,810	136	26	110	800
合 計	3,058	3,362	6,420	3,717	3,983	7,700	659	302	357	3,500

④事業形態別売上高・営業利益

<事業形態別売上高>

(参考)前回公表

	'22年3月期			'23年3月期			増減			'23年3月期	
	上期 実績	下期 実績	通期 実績	上期 実績	下期 見通し	通期 見通し	対前年同期 ②-①			上期 見通し	
	①			②			合計	除く為替	為替		
(億円)											
補修	541	581	1,122	659	686	1,345	118	57	61	625	
産業機械	611	650	1,261	691	704	1,395	80	24	56	670	
自動車	1,906	2,131	4,037	2,367	2,593	4,960	461	221	240	2,205	
合計	3,058	3,362	6,420	3,717	3,983	7,700	659	302	357	3,500	

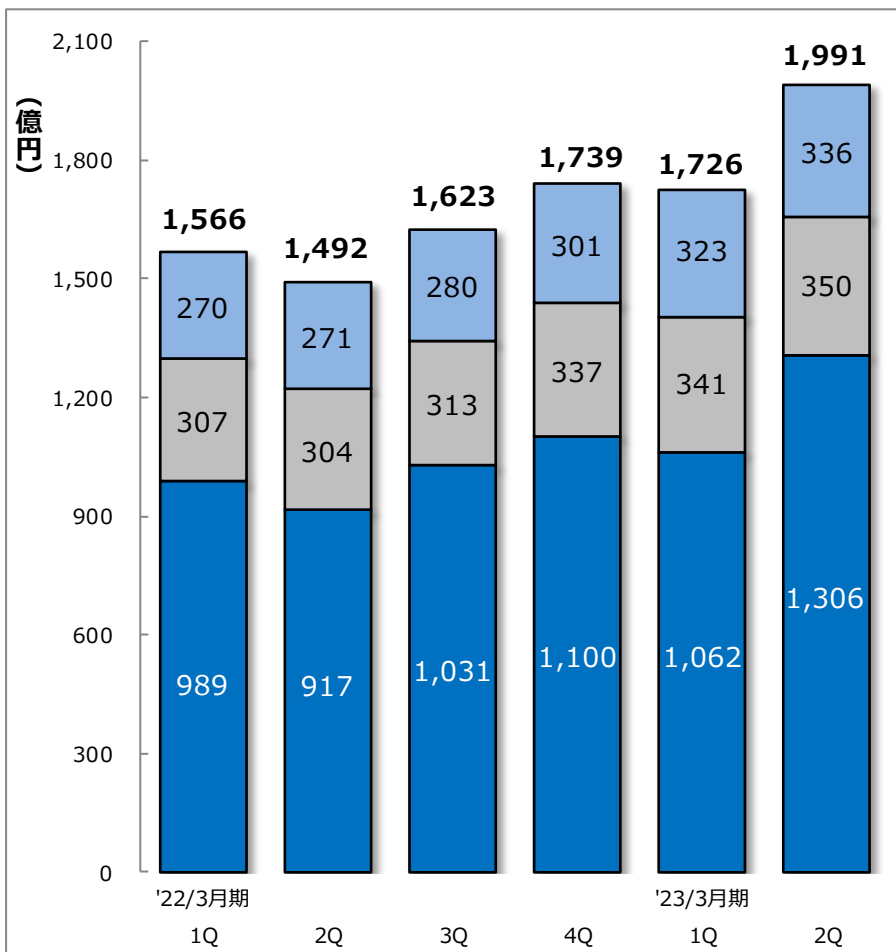
<事業形態別営業利益>

	'22年3月期			'23年3月期			増減	'23年3月期
	上期 実績	下期 実績	通期 実績	上期 実績	下期 見通し	通期 見通し	対前年同期	上期 見通し
	①			②			②-①	
(億円)								
補修	69	78	147	100	105	205	31	90
産業機械	14	27	41	27	28	55	13	20
自動車	△66	△52	△119	△88	88	0	△21	△100
合計	16	53	69	39	221	260	23	10

⑤事業形態別業績（四半期推移）

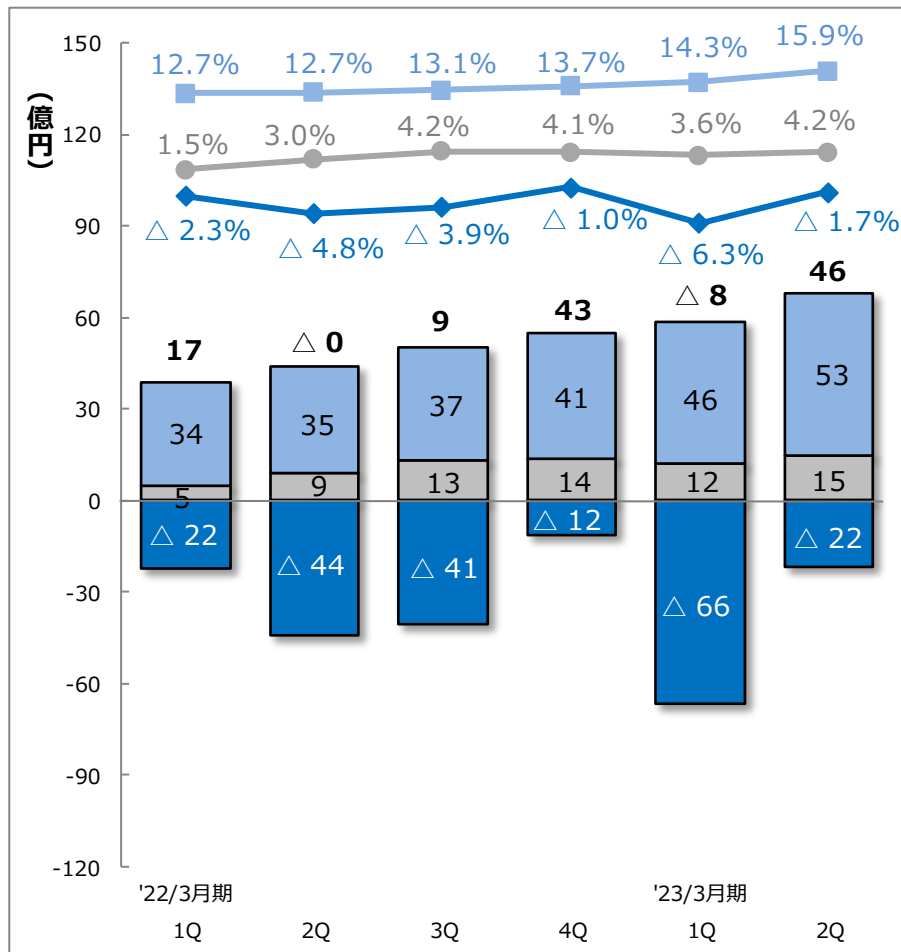
売上高

■ 自動車 ■ 産業機械 ■ 補修



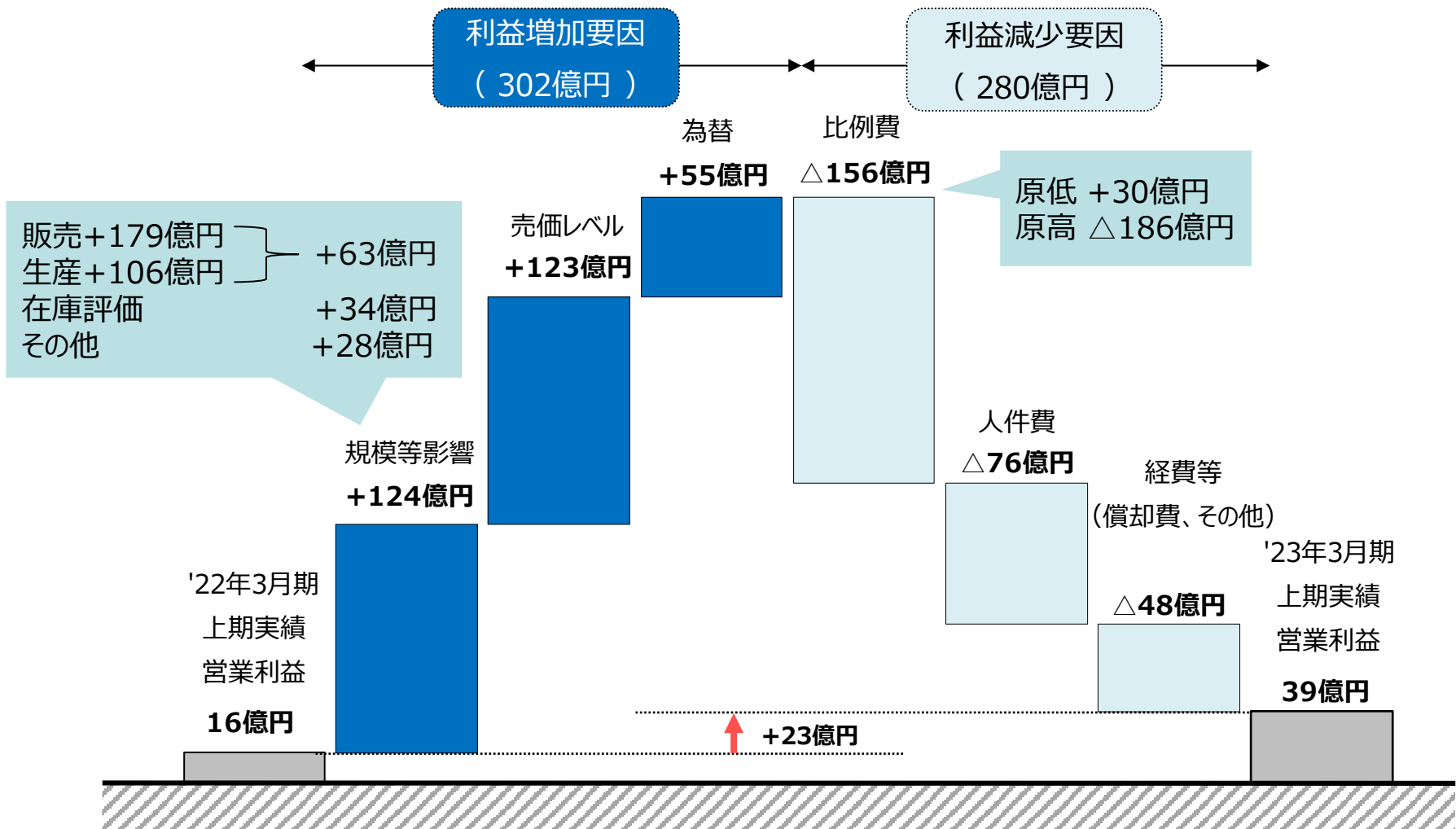
営業利益/営業利益率

■ 自動車 ■ 産業機械 ■ 補修



⑥-1 営業利益増減

〔 '22年3月期 上期 < 実績 >
vs '23年3月期 上期 < 実績 > 〕

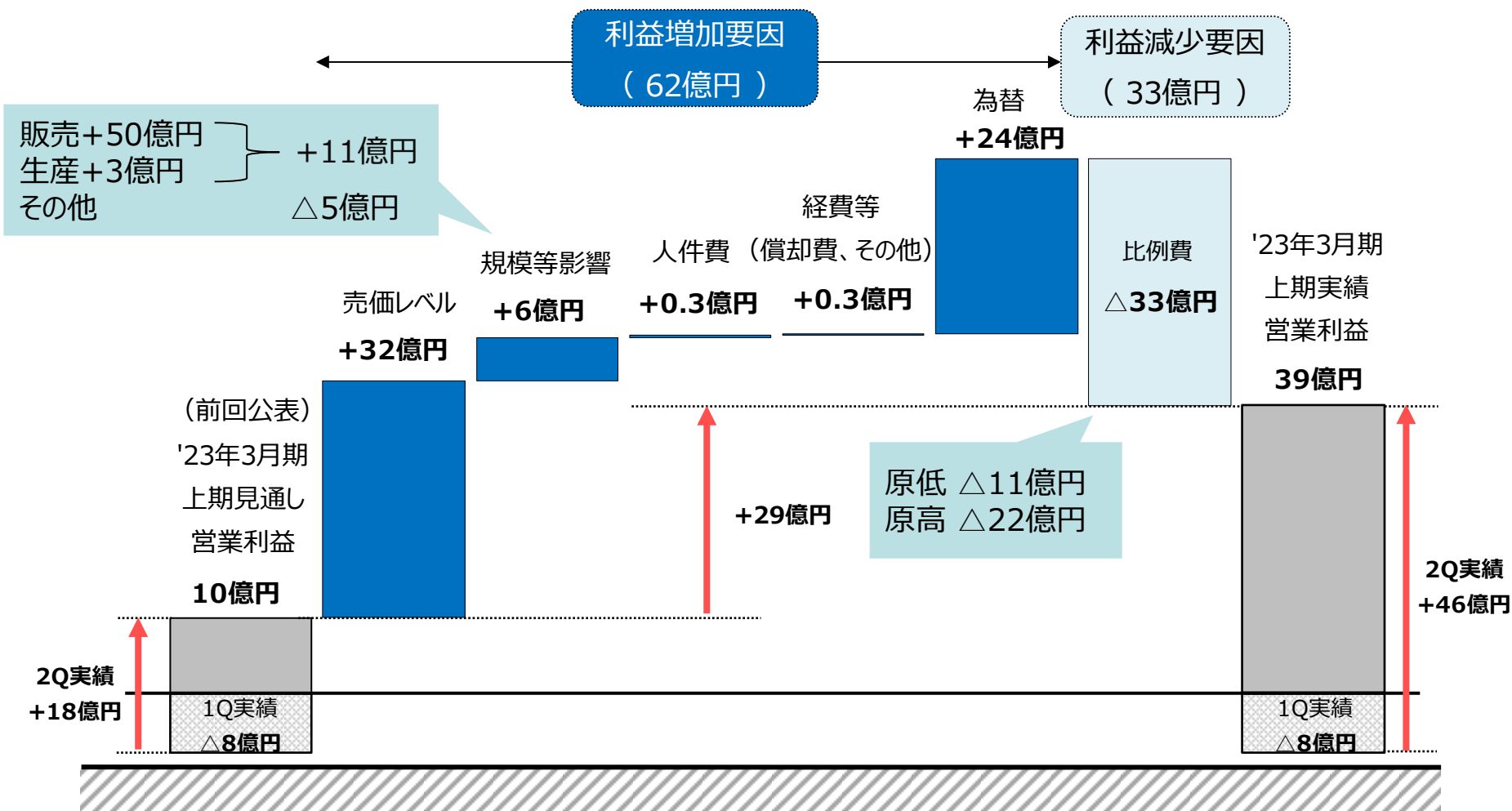


⑥-2 営業利益増減

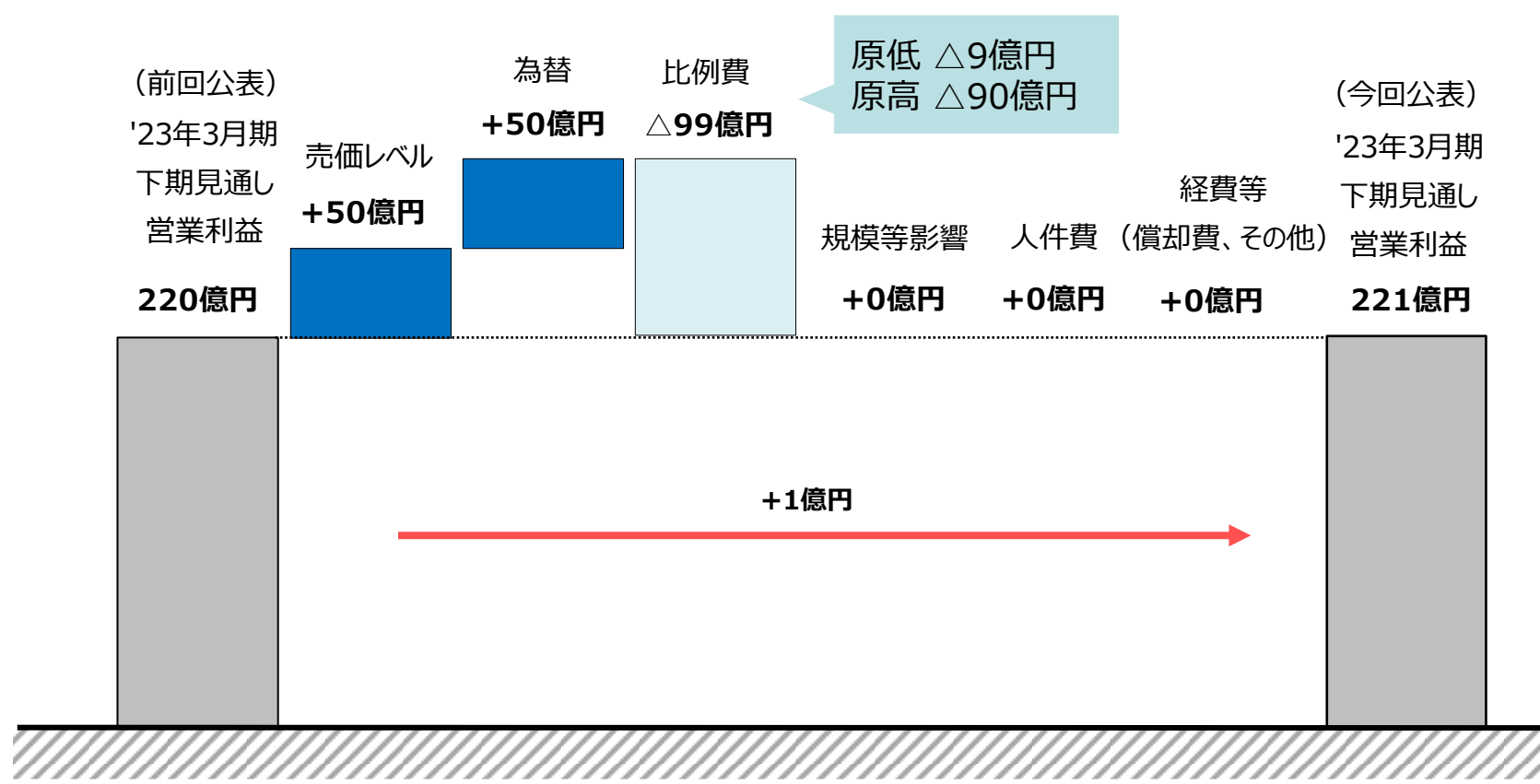
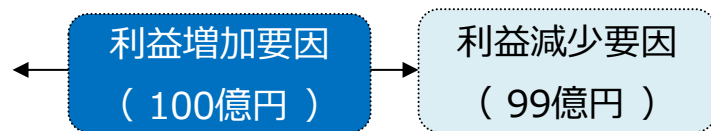
『23年3月期 上期 < 見通し(前回公表)※ >
vs 『23年3月期 上期 < 実績 >



※上期見通しの4-6月は実績値、7-9月は見通し値のため、
下図は7-9月実績の分析となる。



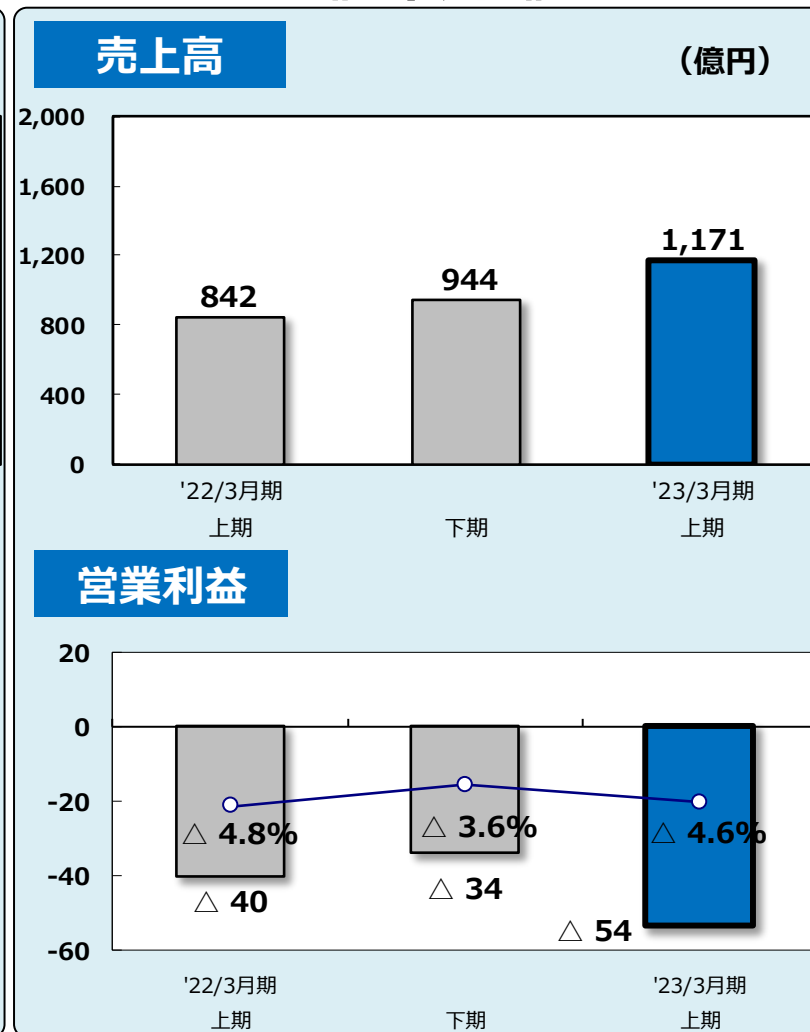
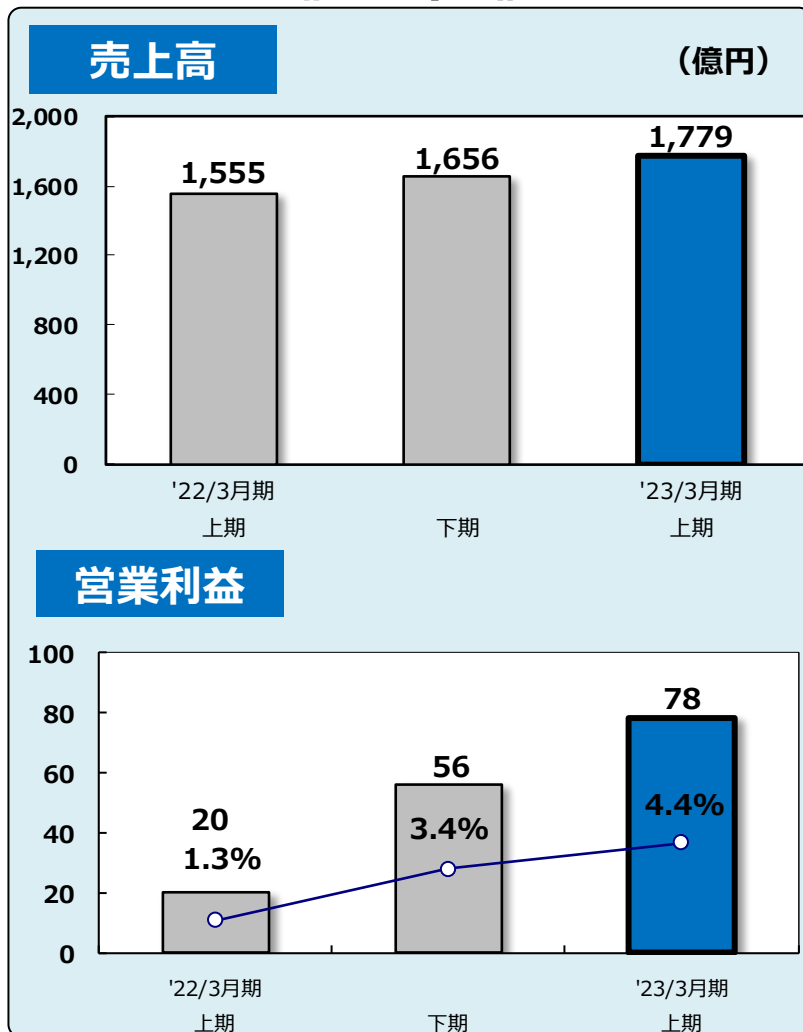
⑥-3 営業利益増減 { '23年3月期 下期 < 見通し(前回公表) > vs '23年3月期 下期 < 見通し(今回公表) > } **NTN**



⑦-1 所在地別 売上高・営業利益 (日本・米州)

《 日本 》

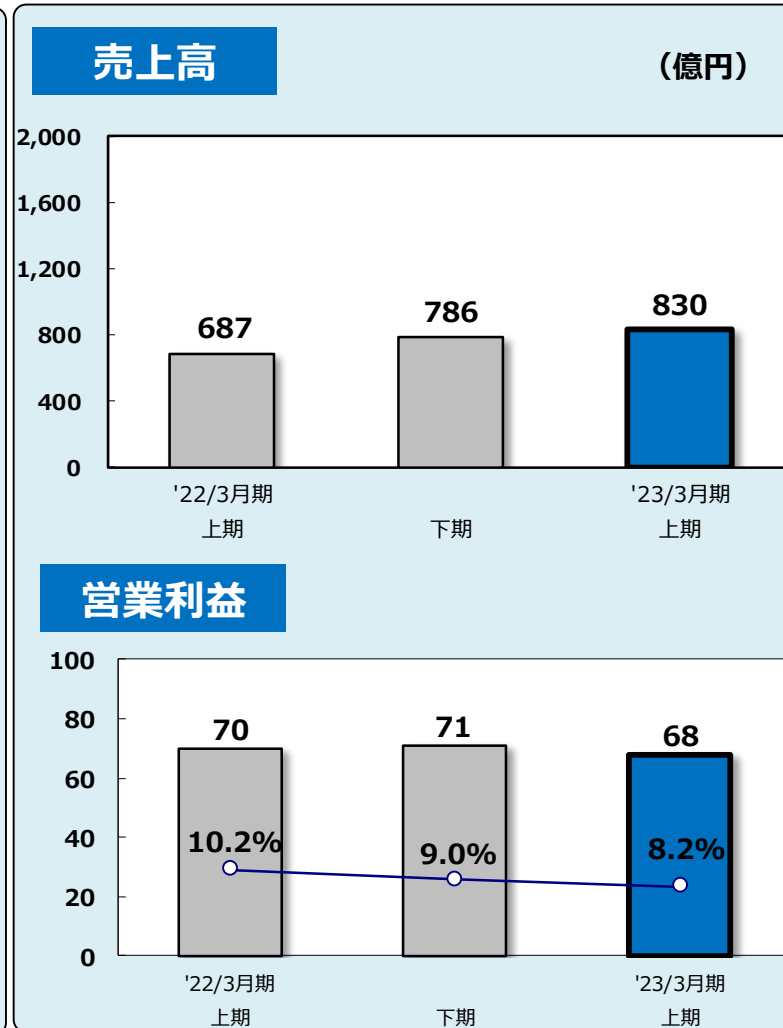
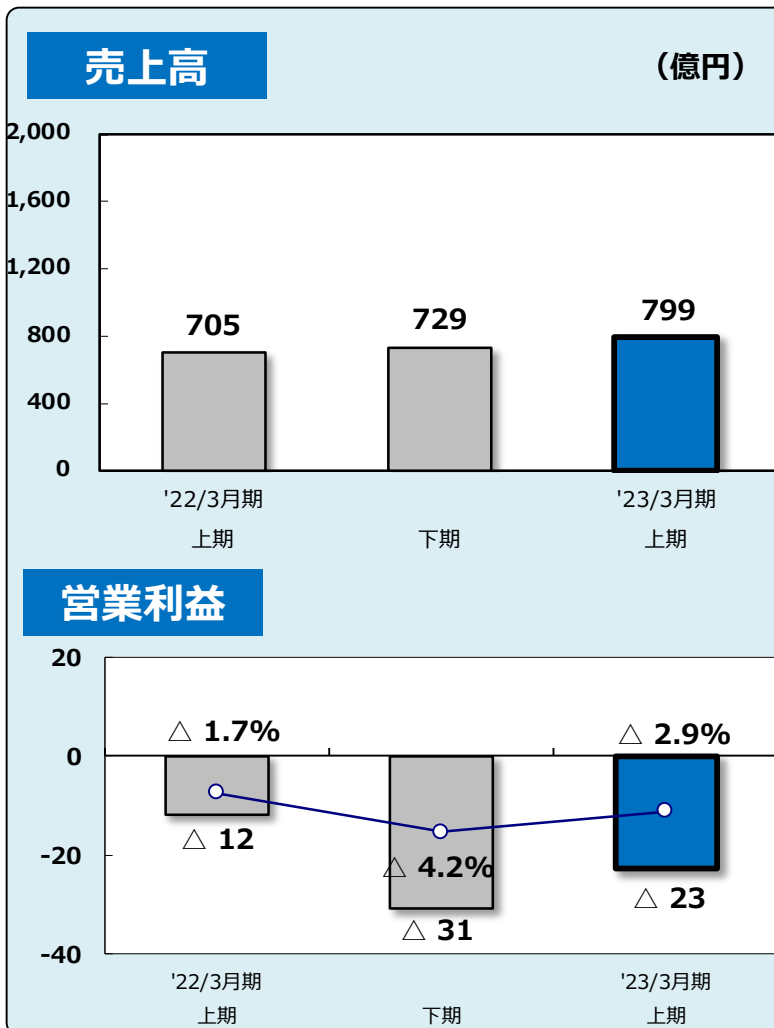
《 米州 》



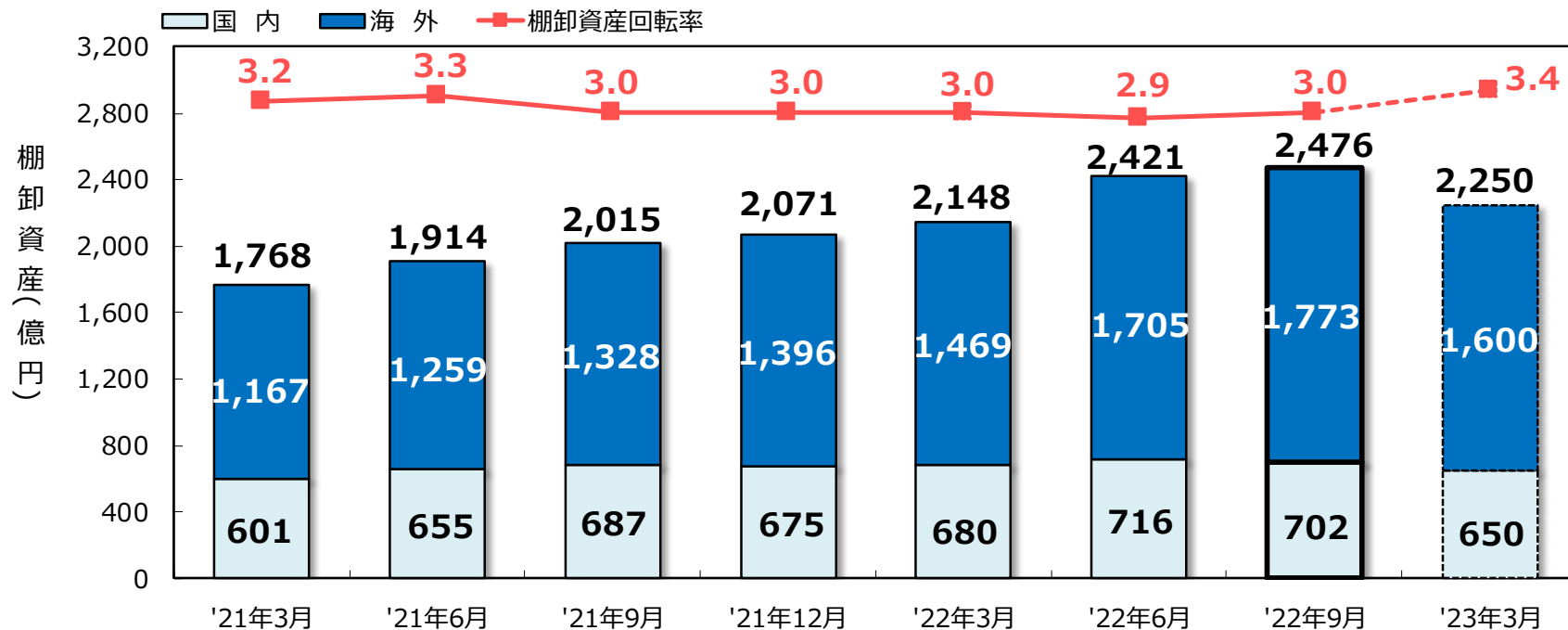
⑦-2 所在地別 売上高・営業利益 (欧州・アジア他)

《 欧州 》

《 アジア他 》

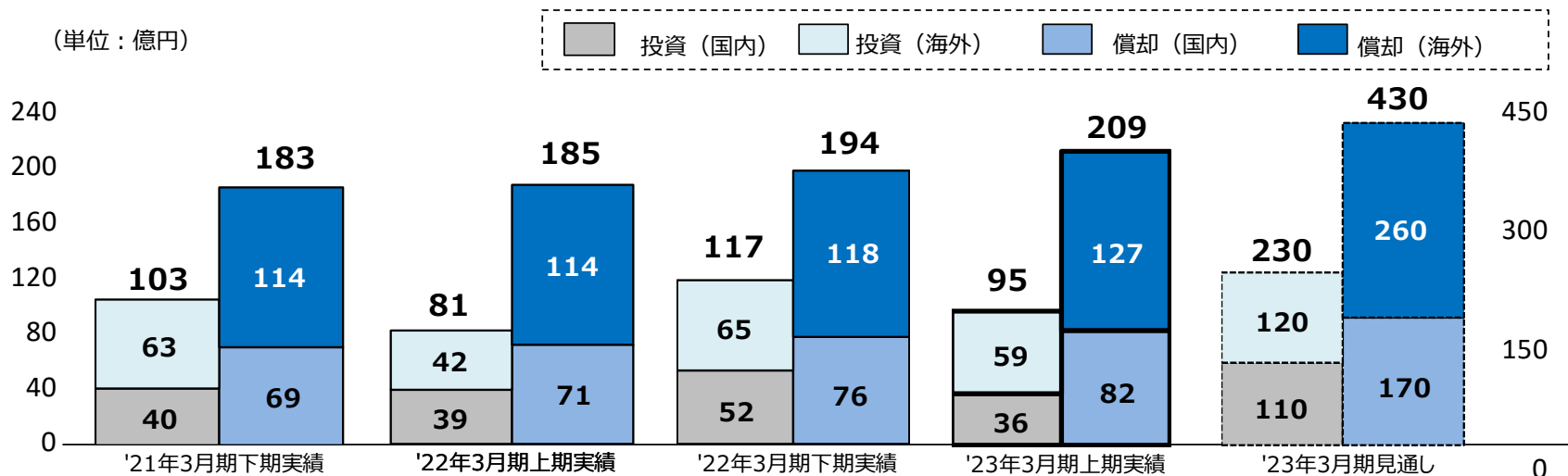


⑧棚卸資産



(億円)	'21年3月 実績	'21年6月 実績	'21年9月 実績	'21年12月 実績	'22年3月 実績	'22年6月 実績	'22年9月 実績	'23年3月 見通し
棚卸資産	1,768	1,914	2,015	2,071	2,148	2,421	2,476	2,250
(海外)	(1,167)	(1,259)	(1,328)	(1,396)	(1,469)	(1,705)	(1,773)	(1,600)
(国内)	(601)	(655)	(687)	(675)	(680)	(716)	(702)	(650)
棚卸資産回転率(回)	3.2回	3.3回	3.0回	3.0回	3.0回	2.9回	3.0回	3.4回

⑨設備投資・減価償却費

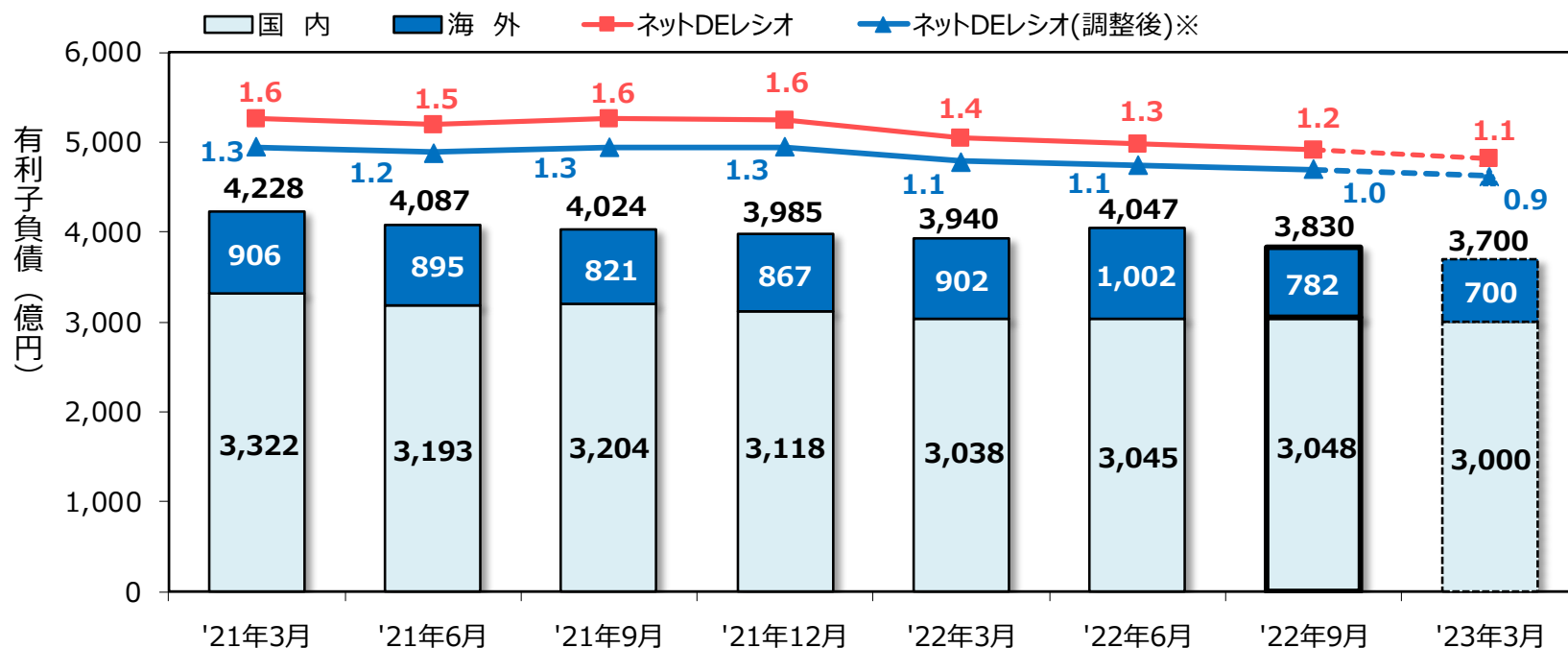


(億円)	'21年3月期 下期実績	'22年3月期 上期実績①	'22年3月期 下期実績	'23年3月期 上期実績②	増減 ②-①	'23年3月期 通期見通し
設備投資	103	81	117	※ 95	14	230
(海外)	(63)	(42)	(65)	(59)	(17)	(120)
(国内)	(40)	(39)	(52)	(36)	(△3)	(110)

※他に、無形固定資産投資額があります。'23年3月期 上期実績：22億円 '23年3月期 通期見通し：50億円

(億円)	'21年3月期 下期実績	'22年3月期 上期実績①	'22年3月期 下期実績	'23年3月期 上期実績②	増減 ②-①	'23年3月期 通期見通し
減価償却費	183	185	194	209	25	430
(海外)	(114)	(114)	(118)	(127)	(13)	(260)
(国内)	(69)	(71)	(76)	(82)	(12)	(170)

⑩有利子負債

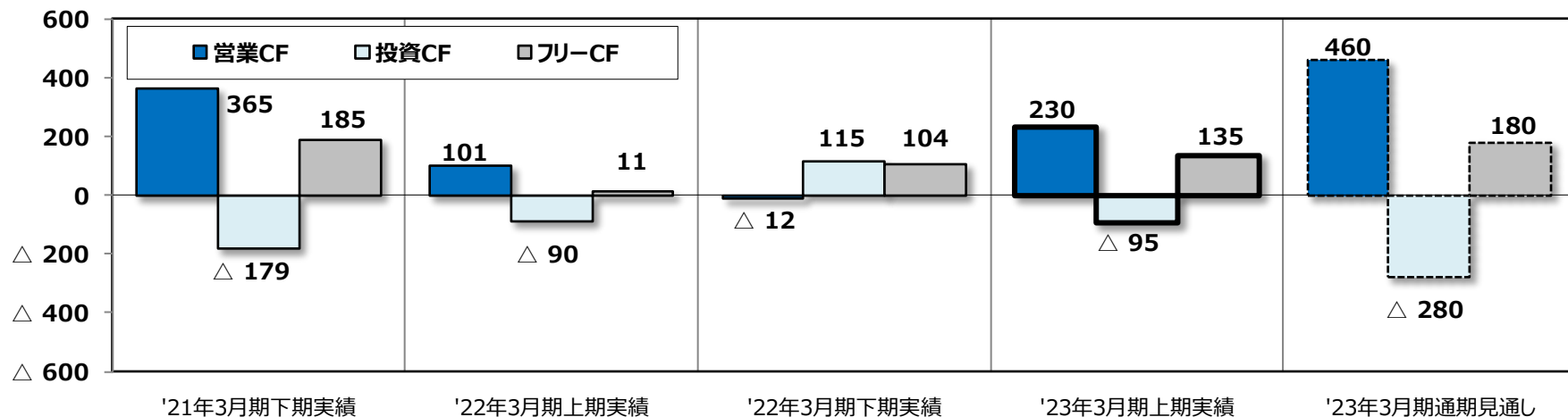


(億円)	'21年3月 実績	'21年6月 実績	'21年9月 実績	'21年12月 実績	'22年3月 実績	'22年6月 実績	'22年9月 実績	'23年3月 見通し
有利子負債	4,228	4,087	4,024	3,985	3,940	4,047	3,830	3,700
(海外)	(906)	(895)	(821)	(867)	(902)	(1,002)	(782)	(700)
(国内)	(3,322)	(3,193)	(3,204)	(3,118)	(3,038)	(3,045)	(3,048)	(3,000)
ネット有利子負債	2,756	2,680	2,769	2,853	2,726	2,786	2,688	2,600

※公募ハイブリッド社債の資本性認定部分（50%）を調整。

⑪ キャッシュ・フロー

(億円)	'21年3月期		'22年3月期		'23年3月期 上期実績②	②-①	'23年3月期 通期見通し
	下期実績	上期実績①	下期実績	通期実績			
I. 営業活動による キャッシュ・フロー	365	101	△12	90	230	129	460
II. 投資活動による キャッシュ・フロー	△179	△90	115	25	△95	△4	△280
I + II. フリーキャッシュ・フロー	185	11	104	115	135	124	180
III. 財務活動による キャッシュ・フロー	547	△228	△185	△413	△250	△22	△340
IV. 現金及び現金同等物 に係る換算差額等	29	△1	41	40	41	42	45
V. 現金及び現金同等物の 増減額	761	△218	△40	△258	△73	145	△115



外部要因原高の売価転嫁の推進

- ◇ 原材料価格高騰の売価転嫁
- ◇ 不採算型番の撤退・値上交渉

調達改革による比例費の削減

- ◇ 比例費率 \triangle 1ポイント

規模増局面における固定費管理

- ◇ 物量増に対し15%以内

DRIVE

Digitalization Resources Innovation Variable cost reformation Efficiency improvement

NTN 100 Phase 2



Make the world **NAMERAKA**

Digitalization, **R**esources, **I**nnovation, **V**ariable cost reformation, **E**fficiency improvement
NTN Transformation for **New 100**years

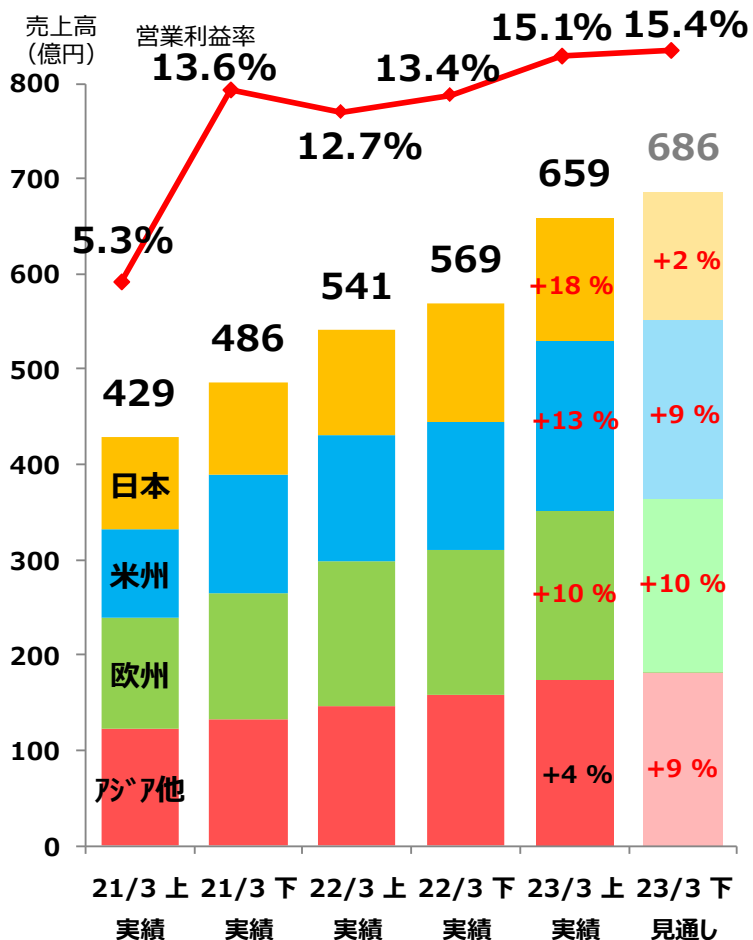
- 本資料およびプレゼンテーション、引き続き行われる質疑応答の際の回答には、将来の業績見通し、事業戦略が含まれており、それらは現在入手可能な情報から得られた当社経営者の判断に基づいております。
- これらの将来的予測に基づく記載や発言は将来の実績を保証するものではなく、実際の結果が製品に対する需要変動、為替変動、金利変動、偶発債務などの様々な要素により、業績見通しとは異なる結果となりうることをご承知おき下さい。

事業形態別販売動向 アフターマーケット事業

<23/3上期実績(前年同期比)>

売上高:659億円(+21.8%) 営業利益:100億円

- 産業機械補修：新型コロナウイルスの影響より全地域で回復し、各地で販売増加
- 自動車補修：アジア他が増加するも、欧州と米州で販売減。



<23/3下期予想：前回公表からの増減コメント>

日本 堅調な需要増加が続き、販売増加を見込む
(前回公表比+8%)

米州 北米は産機補修・自動車補修で販売増、
中南米は横ばいを見込む
(同比+25%)

欧州 産機補修はドイツ、トルコ他で堅調
自動車補修はイギリス他で堅調
(同比+15%)

アジア他 産機補修は中国、アジア他で販売増
自動車補修はアジア他で販売増を見込む
(同比+20%)

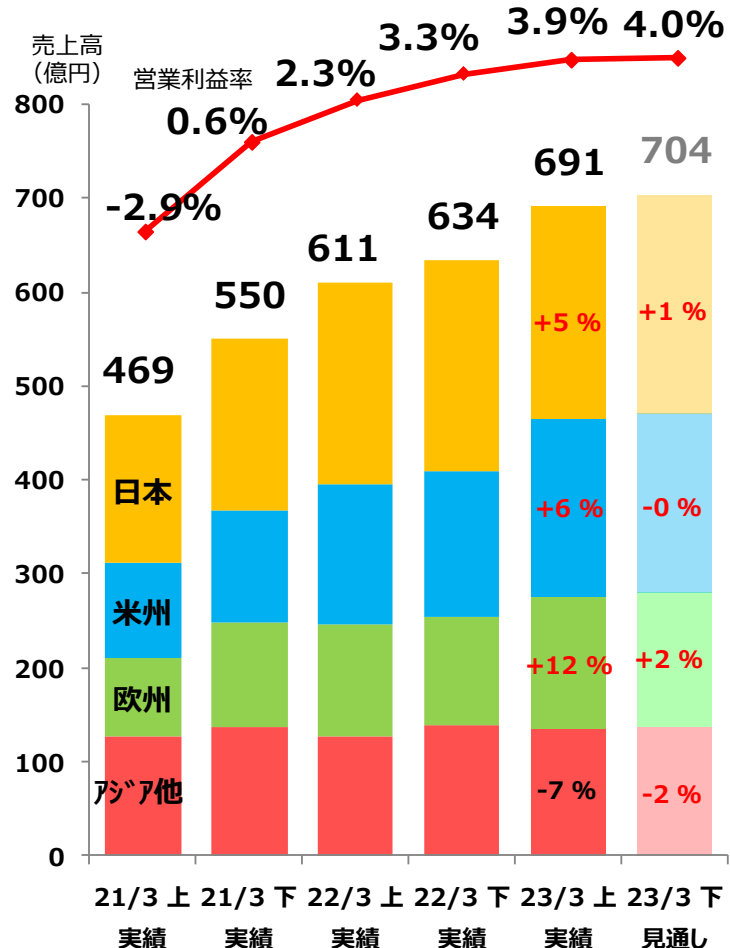
注：棒グラフの増減比率(%)は、前年同期比の「除く為替」の伸び率を表しています

事業形態別販売動向 産業機械事業

<23/3上期実績(前年同期比)>

売上高:691億円(+13.1%) 営業利益:27億円

- 建設機械、航空機、工作機向けで需要が回復し販売増加
- 鉄道車両など新型コロナウイルスの影響が継続し販売減少



<23/3下期予想：前回公表からの増減コメント>

日本

(前回公表比-11%)

航空機、変減速機の需要が増加するも、
建機の需要が減少し、販売減の見込み

米州

(同比+9%)

変減速機やその他業種が増加するも、
風力発電向けの需要が減少する見込み

欧州

(同比-5%)

航空機、鉄道車両で販売増加するも、
工作機、変減速機で需要が減少する見込み

アジア他

(同比-5%)

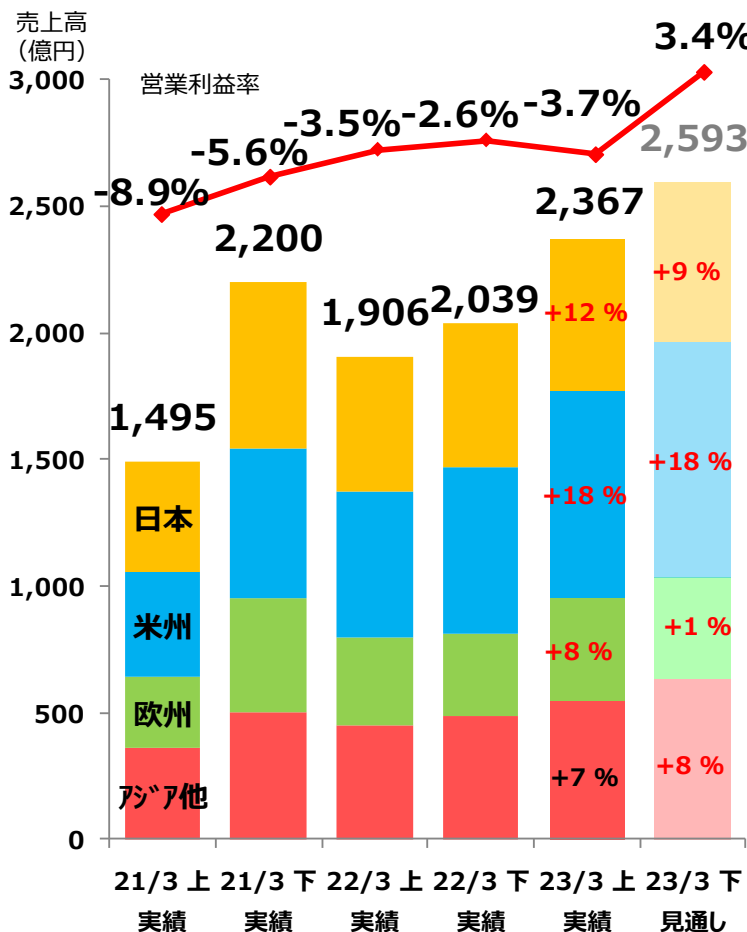
中国は鉄道車両、風力発電向けの需要増加、
アジアは建機、農機の需要減少見込み

事業形態別販売動向 自動車事業

<23/3上期実績(前年同期比)>

売上高:2,367億円(+24.2%),営業利益:-88億円

- 半導体不足の影響もあるが、新型コロナウイルスからの需要回復によりYoY増加
- 米州、アジア他では大幅に回復するも先行きは不透明



<23/3下期予想：前回公表からの増減コメント>

日本

(前回公表比+5%)

半導体供給不足の影響が継続している。回復時期は不透明だが、増加を見込む。

米州

(同比-16%)

半導体供給不足、労働者不足の影響が継続するも、中国都市封鎖からの回復が進み増加。

欧州

(同比+1%)

半導体供給不足の影響が継続している。回復時期は不透明であり、減少を見込む。

アジア他

(同比+8%)

中国都市封鎖からの回復が進んでおり需要も堅調に推移し増加見込み